

高齢者の心に付け込む

振り込め詐欺に遭う被害者のほとんどが高齢者です。原因はさまざまありますが、主なものとして「人間関係の希薄化」「詐欺に関する情報不足」「当事者意識の欠如」の3点が挙げられます。

高齢者世帯や独居老人が増え、地域や家族とのつながりが希薄になっており、高齢者が気軽に相談できる場が少なくなっている上、「役場がATMでお金を返すことはない」「息子や孫がもともと使っている携帯電話に確認の電話をする」など、振り込め詐欺防止に対する情報や知識を知らない方が多くいます。また、警察庁が行った意識調査で、被害に遭った高齢者の8割以上が「自分自身が振り込め詐欺の被害に遭う可能性が『全くない』『ほとんどない』」と回答し、多くの高齢者が「自分には関係ない」と油断していることが分かります。

振り込め詐欺は高齢者だけでなく、若い人も被害に遭っています。若い人に関しては「無料だと思いついたアダルト情報サイトに登録したところ料金を請求される」「利用した覚えのないサイト利用料を請求される」などのインターネットに関連した詐欺が多くを占めています。



イメージ

「詐欺の電話はある日、突然かかってくる」

阿久比町在住 Aさん（70代男性）

「楽しんでお金をもらえるような、うまい話はない！」

ある日の午後、阿久比町役場保険課のコジマを名乗る職員から電話があり、「医療費の還付金に未払いがある。期限が切れているため役場で手続きはできないが、金融機関で直接手続きすれば間に合うので、契約している金融機関を教えてください」と言われました。金融機関を教えたと、しばらくして、その金融機関のキタムラと名乗る職員から「今日中に手続きしないと間に合わないの、すぐにキャッシュカードを持って近所のスーパーのATMに行き手続きしてほしい。着いたら電話してほしい」と言われ、相手の携帯電話番号を聞きました。

自身の経験から、役場の課名が怪しいと感じて役場に電話してみると、保険課は無く、コジマという職員もいないことが判明し、被害に遭わずに済みました。

「還付金と聞くとうれしくて話に乗りそうになったが、役場に確認して良かった」と話すAさん。次の日、ラジオから隣の町で200万円の振り込め詐欺被害が発生したことを聞き、残念な気持ちになったそうです。

半田警察署生活安全課 石本さん

「電話でお金を請求されたら、気軽に警察に相談して！」

振り込め詐欺は、被害にあった人が特別ではなく、いつでも・誰にでも起こる可能性があります。被害に遭わないよう、離れて生活している家族はもちろん、近所に住んでいる家族であっても、こまめに連絡を取り合うことが大切です。また、高齢者はもちろん、若い人たちも、日ごろから、不安なことや困ったことを気軽に相談できる環境づくりに努め、振り込め詐欺について必要な情報を集めたり、知識を付けるためにも普段から話題にしたりしましょう。家庭では、留守番電話、ナンバーディスプレイの活用なども効果的です。

万が一、振り込め詐欺と思われる電話がかかってきたら、慌てずに家族や友人、警察などに相談してください。警察は皆さんの味方です。気軽に電話してください。

